



交流事業 両国の架け橋を未来へ繋げる

AEFA13事業年度目がはじまりました。

2005年、立ち上げ直後の交流事業は、まさに試行錯誤。経験者も専門家もない中、ただただ人のつながりを頼りに、地道にご縁を大切にしてきました。学校現場からのネガティブな反応に事務局内で悲観論がでたり、時には諍いが起きたりすることもありましたが、「受益者は子供達」という原点をぶらさずに小さな歩みを続けてきたことが、今ようやく芽がでてきたように感じます。

東京都教育委員会紹介による「出前授業」では、単発の授業実施で終り・・・でなく、“もっとAEFAと協働したい！”という問い合わせが増えています。「出前授業」をお手伝いして下さる先生&元先生方が「AEFA講師団」として協力。授業のメニューも、増えます！また、日本の大学生やベトナム・タイからの留学生が「学生の自分にもできることを」と活動に参加してくれています。

建設事業は、今年修好65周年を迎えるスリランカでのプロジェクトに注力しています。ジャヤワルダナ氏の想い(P7参照)、日本とスリランカを結ぶ絆を「出前授業」でもお伝えしていきます。

ベトナムは、北部にプロジェクトを徐々に集中します(P6参照)。ラオスでは、引き続き南部僻村及び山岳地帯における建設事業と、学びの質を向上するためのソフト支援を継続・発展していきます。

13年目だから、できること。つなげること。

これからも、小さな歩みを大切に、続けていきます。



小学生のときから日本人の支援活動を通し、日本のことが大好きに。現在、都内大学に留学中のアネーさん(タイ・チェンライ県出身)

中学時代、タイに学校をつくるプロジェクトに参加。国際教育機関への就職を志す根本くん(大学1年生)

大学でESSに所属し、翻訳ボランティアに関わってくれている滝沢舞さん(大学院生)

ホーチミン市の学生団体SUGAR・ドンズー日本語学校とAEFAの協働プロジェクトを推進するヴィさん。別紙で、「若者プロジェクト」号も編集・執筆(大学3年生)

小学生のとき、ベトナムとの交流を経験。現地を訪問・交流したい!大日向くん(高校2年生)

ひとこと スマホ社会に負けないアナログの良さ

長年使った携帯電話を、最新式のスマホに替えた。多機能で便利だそうだが、通話にしか使っていない。というより、使えていない・・・というべきか。ワイファイだのツイッターなどかまびすしいが、海外では電源をオフにしている。

スマホなど、どうでもいい・・・と思いつつも情報格差にさらされ、事務局からは「連絡がとれない！」と嘆かれている。

そんな今だからこそ、「スマホでは、パソコンでは、握手は出来ない!悲しいとき、つらいとき、スマホは気

持ちをわかってくれますか?

もっと素朴な、あたたかな人とのつながりを、会って話すことを、大事にしよう!とりたい。AEFAの交流事業の原点も、同じである。子供たちの素朴な気持ち、届けていきたい。

そんなわたしの思いがなんとかの遠吠えにならぬよう、しかし、スマホは活用できるようにならねばと思っている。

どなたか、教えていただけませんか。

(理事長 谷川 洋)

2016年 建設校一覧

| | 学校名 | 国名 | 民族 | 生徒数 | 新校舎 | 支援者 |
|----|------------------------|-------|----------------------|-----|-------------------------------|--------------------------|
| 1 | ダウカウ小学校 | ベトナム | タイ族・ダオ族 | 86 | 3教室 | エルセラーン1%クラブ |
| 2 | バンホー小学校 | ベトナム | タイ族 | 102 | 3教室 | エルセラーン1%クラブ |
| 3 | アンフータンB小学校 | ベトナム | クメール族 | 165 | 5教室 | シェアードスマイル |
| 4 | グエンチータン小学校 | ベトナム | キン族 | 135 | 3教室 | シェアードスマイル |
| 5 | フォンフーC小学校 | ベトナム | クメール族 | 168 | 3教室+WC | 株式会社アサヒ商会 |
| 6 | タップガイC小学校 | ベトナム | クメール族 | 363 | 4教室 | 株式会社フォーサイト |
| 7 | ゴーチン小学校 | ベトナム | キン族 | 159 | 5教室 +旧校舎修理+WC | 森芳郎・キミエ |
| 8 | リウガン小学校 | ベトナム | キン族 | 146 | 3教室 +旧校舎修理+WC | エルセラーン1%クラブ |
| 9 | バンビエン小学校 | ベトナム | ダオ族・タイ族 | 100 | 4教室(全5教室) | エルセラーン1%クラブ |
| 10 | ボーゴアン小学校 | ベトナム | タイ族 | 107 | 4教室(全5教室) | エルセラーン1%クラブ |
| 11 | ブクトラン小学校 | ベトナム | タイ族 | 126 | 4教室(全5教室) | エルセラーン1%クラブ |
| 12 | パシア小学校 | ラオス | タオイ族 | 137 | 2.5教室+旧校舎修理+先生の家 | WANG基金 (清水新六、宮澤いづみ) |
| 13 | ナードンボン小学校 | ラオス | 低地ラオ族 スアイ族 | 68 | 既存4室完全修復 +1.5室追加+井戸 +WC | 横江友則、亀井善太郎、 上西郁夫、宮内孝子 |
| 14 | ノンコーソン小学校 | ラオス | 低地ラオ族 | 80 | 3.5教室+井戸 | 谷川 裕・敏子 |
| 15 | ファイナ中学校 | ラオス | 低地ラオ族 | 93 | 4.5教室+井戸+WC | 金井 昭雄 |
| 16 | ドンニヤイ中高校 (高校増設) | ラオス | スアイ族 | 199 | 6室+WC+プレイコート | 株式会社フォーサイト 伊藤美智子(飯館村) |
| 17 | ナボーン小学校 | ラオス | スアイ族 低地ラオ族 | 190 | 5.5教室+井戸 +WC | アジアの子どもたちに学校 をつくる議員の会 |
| 18 | ポンドゥー小学校 | ラオス | クメール族 タイダム族 | 126 | 5.5教室+井戸 +WC | 株式会社 ファルコ |
| 19 | ヴァンプアイ中学校増設 | ラオス | スアイ族 | 216 | 6教室+WC | 株式会社フォーサイト |
| 20 | ロムサットタイ小学校 | ラオス | 低地ラオ族 タオイ族 | 239 | 4教室+井戸+WC | エルセラーン1%クラブ |
| 21 | ファイメサン小学校 | ラオス | 低地ラオ族 丘陵地ラオ族 | 227 | 4教室+井戸+WC | エルセラーン1%クラブ |
| 22 | ナムサイロム小学校 | ラオス | タオイ・オイ・カタン ゲー他3民族 | 137 | 4教室+井戸+WC | エルセラーン1%クラブ |
| 23 | ノンサノー小学校 | ラオス | カタン族 | 57 | 3.5教室+井戸 +WC | 千崎真佐子 |
| 24 | ガラヤニワッタナ中高校 図書館/生徒寮 | タイ | カレン族 | 242 | 図書室・洗濯室・貯 水タンク/女子寮 | 株式会社明電舎 彦建設株式会社 |
| 25 | バントウンヤオ小学校 | タイ | カレン族 | 121 | 3教室 | 株式会社明電舎 |
| 26 | ファイパククッ小学校 | タイ | カレン族 | 74 | 4教室 | 株式会社 近江兄弟社 |
| 27 | ソプラーン中学校 | タイ | カレン族 | 35 | 3.5室 | 株式会社フォーサイト |
| 28 | サラナパナ小学校 | スリランカ | シンハラ | 164 | 5教室増築+WC | エルセラーン1%クラブ |
| 29 | セントアン小学校 | スリランカ | シンハラ | 120 | 5教室+WC | エルセラーン1%クラブ |



2015年度 建設校完成写真



バオリン小学校
(エルセラーン1%クラブ)



バンテン小学校
(エルセラーン1%クラブ)



マックデインチ小学校
(リーフラス)



アンロック小学校
(エルセラーン1%クラブ)



ハーラム中学校
(上西郁夫/他)



ランカン小学校
(エルセラーン1%クラブ)



ティエンハー小学校
(エルセラーン1%クラブ)



アンタイ幼稚園
(松下伸廣)



ノンテノイ小増設
(ISSC/インコネ)



ラオス



フオンナム中学校
(セブンユニフォーム/WANG基金)



パスム小学校
(花まる学習会/WANG基金)



フンブア小学校
(ISSC/I-ris)



パチュドン高校
(山口文洋/藤原和博&かおる/WANG基金)



ターサムパン中学校
(エルセラーン1%クラブ)



ターサムパン小学校
(エルセラーン1%クラブ)

2015年度建設校



ドンニャイ高校
(フォーサイト/山田浩司)

2016年度ベトナム建設校11校 (敬称略)



ダウカウ小学校
(エルセラーン1%クラブ)



バンホー小学校
(エルセラーン1%クラブ)



※ボーゴアン小学校
(エルセラーン1%クラブ)



※バンビエン小学校
(エルセラーン1%クラブ)



※ブックトラン小学校
(エルセラーン1%クラブ)



ゴーコン小学校
(森芳郎・キミエ)



リウガン小学校
(エルセラーン1%クラブ)



フォンフォーC小学校
(株式会社アサヒ商会)



タップガイC小学校
(株式会社フォーサイト)



アンフータンB小学校
(シェアードスマイル)



グエンチーティン小学校追加校舎
(シェアードスマイル)

2016年度 ラオス建設校12校 (敬称略)



ノーコンソン小学校
(谷川裕・敏子)



パシア小学校
(清水新六・宮澤いづみ/WANG基金)



ナボーン小学校
(アジアの子供たちに学校をつくる議員の会)

ベトナムの学校建設事業は、南部11校、中部102校、北部24校と、多くの学校を建設してきました。しかし、現地の状況とニーズは地域によりそれぞれです。省の中心部から離れれば離れるほど、生活環境の格差があります。AEFAは、その場所や状況に応じて何か必要とされているのか、建設後のフォローアップ事業として、村の人々と話し合い共に解決策を考えています。

地方



トゥエンクアン省
ダウカウ小学校

省の中心部から2時間～3時間離れている村々、さらに山岳地域に入ると、村人が自分たちで建てた学校があります。教材や学校設備も不足、あるものを活用し、出来る限りの授業を行っています。

それらの地域では、現金収入が少なく自給自足の生活を送っている村人がほとんどです。それでも、とにかく子供たちに学校で勉強してほしい、知識を身につけて農業以外のことも学んで欲しい、将来の選択の機会を与えたい、と願う親が多くいます。



ハノイ近郊

バクザン省 小学校

ハノイやホーチミンなどの主要都市から車で約1時間ほどの省では、都市に出稼ぎに行ったり、街に工場も増え、少しずつ農業以外の職業の選択ができるようになってきました。しかし、学校の教育面の変化はそれほど大きくありません。地方山岳地域の学校よりはしっかりとした校舎ではあるけれど、雨漏りもひどく、衛生環境も整っていない状況の学校が多くあります。ある程度の教材が揃い、勉強できる環境にはなっていますが、教育の質を高めるには、まだまだ不足している部分があります。建物や教材だけでなく、教員の能力の向上をめざしている段階です。



ハノイから見たベトナム教育事情、フトコロ事情



ベトナムの学校は、9月に新学期を迎え5月下旬に年度が終了、その後3か月間に及ぶ長い夏休みとなります。本原稿執筆中の5月中旬現在、年度末の気ぜわしさ真っ盛り、といったところです。AEFAが支援しているような山岳地域、僻地の暮らしがある一方で、都会のベトナムは今、どのような状況なのか。今回はハノイに暮らすザンさんのご家庭を通してベトナムの都会の教育とお金の事情をお伝えします。

彼女には娘が二人おり、長女は12年生、次女は5年生。小中高が5年、4年、3年の12年制なので、二人は高校と小学校の最終学年です。娘たちには親世代と違って良い学校を出て安定した収入を得られる仕事についてもらいたい、というのが夫婦の願いです。ただ近頃は、「とにかくお金がかかる」というのが口癖。彼女のご家庭の暮らしぶりは中の上といったところですが、それでもやりくりが大変な様子です。

長女は優秀な高校に通っており医学部を目指していますが、今年の塾代だけで50万円ほどかかったそうです。優秀な学校には裕福な家庭の子供が集まるので、父兄などで決めるクラスの積立金やイベント費用なども何かと高額らしく、先日は「謝年会費一人3000円なのよ！」と嘆いていました。また、日本では信じられないようなところにもお金が動いているようです。例えば、全国统一テストで1位や2位を取ると無試験で希望の大学に入れる、というような制度もあるのですが、その順位や点数も「購入」できる、とされています。ザンさん夫婦は信じていなかったようで、最近になって「本当に買えるようだ。なら買っておけばよかった」と若干後悔気味。次女は越境して別の学区の良い中学校に入学させる予定なのですが、その件を「お願い」しに区の教育課長を訪れ、お菓子やお酒、そして封筒を手渡したそうです。課長はお菓子を一瞥し「お菓子なんて今どき誰も食べませんよね」と言いつつもすべて受け取り、封筒に10万円入っているのを確認した上で「本件心配いりませんよ」と太鼓判を押したとのこと。

こんなことがまかり通っているのです。しかし、教育システムそのものが矛盾をはらんでいたり、腐敗していたりというのは途上国にはよくあることかもしれません。このような現実をすべて受け止めたうえでどのような支援ができるのか考え見極めることも、AEFAに求められるところではないでしょうか。（寄稿：坪井未来子）



ラオス(12校)



ナードンボン小学校
(横江友則・上西郁夫・宮内孝子・他)



ドンニャイ中学高校
(株式会社フォーサイト)



※ヴァンプーアイ中学高校
(株式会社フォーサイト)



※ノンサノー小学校
(千崎眞佐子)



※ポンドゥー小学校
(株式会社ファルコ)



ファイナ中学校
(金井昭雄)



※ロムサッタイ小学校
(エルセラーン1%クラブ)



※ナムサイロム小学校
(エルセラーン1%クラブ)



※ファイメサン小学校
(エルセラーン1%クラブ)



タイ(4校)



ガラヤニワッタナ中学校/図書館・水タンク他
(株式会社明電舎)



バントウンヤオ小学校
(株式会社明電舎)



ファイパククツ小学校
(株式会社近江兄弟社)



ガラヤニワッタナ中学校
生徒寮
(彦建設株式会社)



※ソプラーン中学校
(株式会社フォーサイト)



スリランカ(2校)



※セントアン小学校
(エルセラーン1%クラブ)

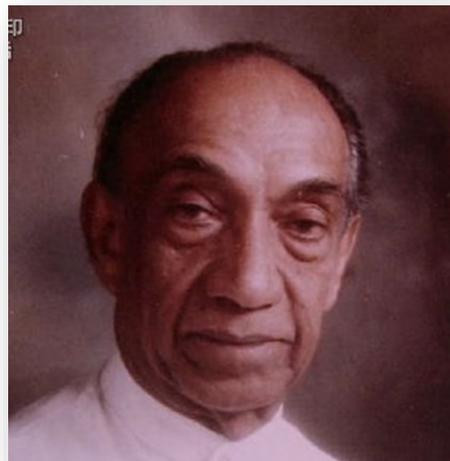


※サラナパナ小学校
(エルセラーン1%クラブ)

今の日本があるのは、ジャヤワルダナ氏のお蔭と言っても過言ではありません。もし、氏がサンフランシスコ講和会議で、日本に対する賠償請求権放棄を演説してくれていなければ・・・日本はまだまだ発展途上にあっただかも知れません。

戦勝国の一員であった当時のセイロンの蔵相ジャヤワルダナ氏（後に大統領となる）は、「憎しみは憎むことによっては消えず、愛することによって無くなる」と仏陀の言葉を引用して対日賠償請求権の放棄を宣言し、また「日本はアジアのリーダーとなる国である」とも演説をされました。その演説により賠償放棄に同調した国もありました。日本側の吉田茂全権大使は感激の涙を流し「セイロンへの大恩は決して忘れてはならない」と言われたとのことです。

また、同氏は大の親日家で何度も来日されました。また遺言に「私の右目はスリランカの人に、左目は日本人に」と残され、静岡県的女性に移植されました。



ジュニウス・リチャード・ジャヤワルダナ氏

こころ豊かな人々！

2004年12月26日、スマトラ沖で発生した津波は島国のスリランカを襲い海岸線の75%が大きな被害を受けました。

南部の被災地ヒッカドゥワを視察した時、一人の婦人が近づいて来て「お金をください」と要求しました。一人にあげればそれを知った人たちが集まってくるだろうと考え、拒否しました。押し問答をしているうちに数人の婦人が集まってきましたが、お金を要求するのは最初の婦人だけで他の人は黙ってついてくるだけ。同行の現地のNGOスタッフに相談したところ、「少しだけあげてください」とのこと。ポケットには500ルピー札(400円くらい)一枚しかなくそれを渡したところ、「ありがとうございます、これを全員で分けます」と言うのです。自分の考え方がどれほど貧しいものかと大きなショックを受けました。

少しのものでもみんなで分かち合い、助け合うのがスリランカの人たちなのです。



ストルト漁法：海にたてた棒の上で漁をします。この一本の棒の周りが漁場です。



投地をしてお参り。スリランカの人たちは信仰にたいして敬虔です。

信仰心の篤い人々

スリランカは仏教徒が75%、ヒンドゥー教徒、キリスト教徒がそれぞれ8%、その他、回教徒の人たちがいますがいずれも敬虔な人たちです。

満員のバスに僧侶が一人乗り込んできました。運転手のすぐ後ろの二人掛けの座席に座っていた人はすぐに立ち上がって席を譲りました。僧侶は座席に着くと、悠々と新聞を読み出しました。僧侶は無料、且つ、座席が保証されているのです。僧侶に座席を譲るのは当たり前のことなのです。

また、人々は僧侶の足元に跪き、両手を僧侶の足の甲に触れるか、かざして尊敬の意を表します。

子供たちは年長者に対し同様の敬意を表します。

文責：スリランカ担当 牧野卓夫



毎年サラワン県で実施している教員研修。2016年度は「一般社団法人東京倶楽部」様のご支援で、より現場のニーズと要望に応える形で実施することができました。小・中学校各教員向けの「研修会」のほか、「教員向スタディツアー」を初めて実施。サラワン県教育スポーツ局の役人や、AEFA建設校の教員らが12月28-30日、チャンパサック県のモデル校を視察。授業見学やディスカッションを行いました。

- 地域と学校との協力関係、学校運営
- 教室・校庭の環境整備、教材作成、ラーニングコーナー（右写真/モデルとなる絵や工作を掲示）、読書スペースの設置
- 理解の遅い児童のための補修クラス
- 学習指導計画、学校改善計画



モデル校と全く同じにする、ということではなくて、自分たちの学校をよくするために引き続き考え、実行していく。たくさんの先生方が情報・意見交換を行い、お互いに学びあうことができたのが一番の収穫と思う。
(Mr. ピシット サラワン県教育スポーツ局)

日本の学校を訪問して..



2016年10月、日本訪問研修として日本の学校を訪問したソムチャイ・サイヤバンハ（ラオガム郡教育スポーツ局）さん。優秀な研修講師として、サラワン県内だけでなくラオス全土の多くの学校を訪問し、たくさんの先生に会う機会があります。 昨秋の日本招聘で感じ、学んだことを話

してくれました。

「日本から戻って、すぐにAEFA主催の【教員研修会】がありましたので、早速、日本の学校の様子、経験を共有しました。日本の方はとても礼儀正しくフレンドリー。学校でも、教員と子供の距離がとても近いと感じます。

特に、三重県津市高野尾小学校の授業が印象に残っています。子供に考えさせ、子供が主体的にプレゼンテーションを行い、先生は見守り、コメントをするというスタイル。子供同士、お互いに学び合う。とても刺激になりました。福島県飯館中学校では、生徒たちが企画・準備・進行する集会にも参加。生徒たちの主体性と高い英語力に、大変驚きました。

当地では、教員が一方向的に授業を行う形が主です。ラオスの先生方には、「子供たちが自身が考え、主体的に発言する機会を与えて欲しい。」と伝えました。 全国規模の会議でも、日本について・日本のカリキュラムについて、プレゼンを行いました。ぜひラオスの先生方が、日本の学校から学ぶ機会を増やしたいです。」

教員研修・日本研修事業は、「一般社団法人 東京倶楽部」様のご支援で行われました。



Child Right Promotion 子どもたちが先生になる日NO.3

プロジェクト担当スタッフより



「ファイラ村とチャンタイ村の少数民族の子供たちは、村の外の人を見たことがないので、とても人見知り。というよりも、怖がり。活動初日は、私たちのことを怖がって泣き出す子もいました。親がずっと一緒にいないとだめで、ほとんどの子は黙って座っているだけでした。でも今では、毎週の活動をとても楽しみにしていて、元気に参加しています。お兄さんお姉さんたちのやることをよく見ていて、真似したり、学んでいます。子供たちの変化には、こちらが驚くほどです。

私自身、この活動が大好きなので担当できてとても幸せです。子供たちが、小学校に入ってからでもCRPで学んだことを活かしてくれたら・・・と願っています。」

Ms.チャンマニー・タンデン
(サラワン県タオイ郡出身)



CRPは「セカンド・オピニオン株式会社」「グローバルナレッジネットワーク株式会社」様のご支援で実施中。

たくさんの笑顔にかこまれた開校式



**世界でたった一つの
オリジナル パシア時計！**

パシア小学校は、3月6日に開校式が行われました。開校式は、村あげてのお祭り！両親や村人もたくさん集まり、子供たちの晴れ姿に目を細めていました。ナムゲルン校長先生のアイデアをファウンダー・清水新六氏（時計企画室コスタンテ）がデザインした、世界でたった1つの「パシア時計」を贈呈。教室で時を刻み、子供達を見守っています。パシア小を卒業した児童は、「パチュドン中学校」に進学します。清水さんは、ナムゲルン先生に再訪を約し、パチュドンでパシア卒業生に会えることを楽しみにしています。



ナポーンともだち小学校開校式

「アジアの子供たちに学校をつくる議員の会」

5月8日、奥野信亮代議士、秋本真利代議士のご参列で、同会16校目となる「ともだち小学校」開校式が行われました。当日は、プートン・トンマニヴォン氏（サラワン県副知事）、シリサク氏（県教育スポーツ局長）、トンヴァイ氏（同副局長）、ストーン氏（ラオガム郡知事）、カムライ氏（同副知事）らAEFAがいつも

大変お世話になっているサラワン県のゲストも多くなりました。奥野代議士より、子供たちに「この学校は、皆さんの教育を大事に思う、両親と村人の協力でできた。みなさん、御礼を言いましょう！ここでたくさん学び、世界で活躍する人になってほしい。そして日本のことを知り、理解を深め、共に発展していきましょう。」とスピーチ。プートン氏から「ラオスの人材育成の場として、この校舎を活用する。日本との友好関係と連携を深めていきたい。」との挨拶がありました。



ドンニヤイ校でのスポーツ交流会



AEFAを支えてくれる サポーターたちをご紹介します



フロボ/
で
サポート!

司法書士 福井今日子さん
(岐阜県/福井事務所)

毎年、認定NPO法人として必要な法務局への登記等行政関係を、専門的スキルと「時間」を使い、サポート頂いています。
司法書士の視点、仕事を通して気づいたことのアドバイスも下さり、AEFAの心強いパートナーです。
ラオスの学校建設ご支援者でもあります。
「ふだんは遠くにいて、AEFAの活動にはこれまでなかなか参加やご協力ができませんでしたので、お役に立てれば幸いです。
事務局の方が何時間もかけて書類準備されるなら、その時間は活動に充てていただきたいですから！
また、ラオスの子供たちにも会いに行きたいです。」 (談)



好きなことで
チャリティイベ
ントを開催!

A E F A × Kuri Books横浜読書会



「チャリティ読書会」は、主にアジアに関するテーマの書籍を持ち寄る読書会です。アジアのお茶やお菓子をいただきながら、和やかな雰囲気の中で定期的に開催しています。職業、年齢、性別など関係なく、様々な方達との良き出会いがあり、沢山の学びがあります。収益はアジア途上国に書籍を寄贈する目的でチャリティ活動を進めています。見学も大歓迎！皆様の参加を心よりお待ちしております。



(主宰：佐藤久理)

ワンコイン
スクールPJ卒業
生が活躍!

いわき生徒会長サミットから学んだこと、そしてこれから

中学3年生の時、「いわき生徒会長サミット」の第3期議長となり、中心的活動の一つとして「タイに学校を作ろう！（ワンコインスクールプロジェクト）」を統括。東日本大震災での世界中からの支援への恩返しと、復興の発信の想いを込め、いわき市の全中学生の力を結集しタイの山岳地帯にファイコン中学校を建設支援した。この経験がきっかけとなり、将来、国際社会における開発教育の改善を志す。

「いわき生徒会長サミットでは、学校間の枠を超えて生徒会活動の意見交換を行うのはもとより、豊富な海外派遣研修等を通して見識を広めることができました。特に、タイに学校を建設したこの事業は、市内の中学生が一致団結して成し遂げられたという点で大きな価値がありました。今度はぜひ、ファイコンを訪問し、私たちの『想い』の結晶であるファイコン中学校をこの目で見てみたいですね。そして、いわきとファイコンで出来た架け橋を後輩たちにも引き継いでいきたいと思います。」 (談)

昨年は、フォローアップ事業として、いわきからの支援で学校菜園・農業プロジェクトを実施。ファイコン校の生徒たちが実際にコーヒーやアボカドなどの約20種類の野菜を育て、また害虫駆除のための木酢液を作ることを通して農業技術を習得しました。収穫した野菜は、寮生の食料になります。教科書からだけでは得られない「生きた知識」を学ぶことができる場所、それが学校なのです。

大学生 根本直哉くん
(福島県いわき市出身)



この春より本格的に活動を始めました

2017年春、本格的に関西で活動を始めました！AEFA関西支部でございます！

■活動内容

主に東京事務局の事務業務のお手伝いや、西日本地区においての活動のサポートです。

具体的には：

- ・東京事務局の事務業務のお手伝い（渡航書類等の手続き等）
- ・会報や資料の発送
- ・ご支援希望者など各種お問合せの皆様への説明・訪問
- ・学校への出前授業の実施

などなど、私達がお手伝いできる事から進めています。

■活動メンバー

ラオス・ベトナムの少数民族の子供達への教育支援に興味のある方が滋賀・京都・大阪・兵庫から集まっておられ、年齢、性別は様々です。実際に現地へ学校や教材、運動具、牛銀行などの支援をしておられる方もいらっしゃれば、このサポート活動と熱い想いを通して子供達への支援へとつなげておられる方、ご自分の得意分野を生かした活動を計画されている方・・・など、多岐に渡っています。



* 今後も、定期的に活動報告をさせていただきます。関西方面にお住まいの方、AEFAへのサポート活動にご興味ございましたら是非ご連絡くださいませ。（連絡先はAEFA東京事務局まで）

* ご一緒に小さな支援から始めてみませんか？同じ想いを持つ者同士が集うのはこの上なく楽しいなあ毎回実感しています。

（文責：タイキッチンパクチャー 菊岡信義）



エモック



イタム

ダンカム ママ

毎日、世話をしています。生活に張りが出ます。学校活動も、がんばります！

ラオスで行っているプロジェクトです。

牝牛を、学校の先生や村人にサポート。健康で丈夫な牛を選びます。1頭800USDくらいです。先生方には、責任をもって牛のお世話をさせていただきます。生まれた仔牛は、「動産」として活用。育てて大きくする、現金が必要となったときに売る等、活用の仕方はおまかせです。当会では、基本的に「現金」での支援は行わず、村おこしや学校の課外活動として、また先生方のモチベーション向上にもつながります。



チャンパ ママ

「牛は大事な家族！」という農業国ラオスならではの取り組みです。（写真は、ナサイプーカム村のプロジェクト。さっそく仔牛が生まれています！）

AEFA往来 2017.1~2017.6



- | | | | |
|----|----------------------------|----|------------------------|
| 1月 | ●タイ・ガラノワツ中開校式(25日) | 3月 | ●AEFA総会(24日) |
| | ●タイ・バントウンヤオ小開校式(26日) | 4月 | ●ラオス・ターサムパン小開校式(21日) |
| | ●チャリティ読書会(21日) | | ●ベトナム・バンホー小開校式(24日) |
| 2月 | ●理事会開催(24日) | | ●ベトナム・ダウカウ小開校式(24日) |
| | ●タイ・ファイクッ小開校式(28日) | | ●ベトナム・リウガン小開校式(25日) |
| 3月 | ●ラオス・ナードンボン小開校式(2日) | | ●スリランカ視察 |
| | ●ラオス・パシア小開校式(6日) | 5月 | ●ラオス・ナボン小開校式(8日) |
| | ●ベトナム・フォーサイト東大生研修(15日~20日) | | ●ラオス・ドンニャイ校スポーツ交流会(8日) |
| | ●ベトナム・タップガイC小開校式(17日) | | ●ベトナム・チャビン省スポーツ大会(18日) |
| | ●ベトナム・鎌倉学園研修旅行(21-24日) | 6月 | ●チャリティ読書会(10日) |

AEFAイベントのご案内

第12回 AEFAフォーラム開催!

「奔走老人」理事長 谷川洋の講演、AEFAスタッフから各国の状況、プロジェクト報告を行います。アジアのこと、AEFAのことを知るチャンス! はじめましてな方も、どうぞお誘いあわせのうえ、お気軽にご参加ください。(詳細はfacebookにて)

日時: 2017年8月5日(土) 14:00~16:00
入場無料
 会場: ポプラ社 本社(新宿区)

ベトナム政府より教育功労賞受賞

長年の活動に対し、ベトナム政府より教育功労賞を贈られました。3月15日、ハノイの教育省での伝達式に、理事長とVNAH代表トラン氏が列席。

「2004年に初めてベトナムの地を踏み、7時間かけてたどり着いたランソン省の老朽化した小さな学校。子供たちの学びたいという気持ちに突き動かされ、これまで151校を建設した。200校を目指して頑張りたい。

ベトナムで、多くの素晴らしい知己を得たのが、私のかげがえのない財産。」と、理事長よりベトナムの仲間達へ感謝の言葉を伝えました。



トゥアン局長と再会! グエン教育省局長(右) 祝福を受ける より、盾の贈呈

第3回タイ家庭料理会

今年もアジアの家庭料理会を開催します! タイ人留学生のアネーさんが、料理のポイントやタイの習慣をお話しながらお料理します。

日時: 2017年7月8日(土) 12:00~15:00
 会場: AEFA事務所
 会費: ¥3,000(材料費以外は寄付金となります)
 申込: FBにメールか事務所にお電話で受け付けしております。定員になり次第、締め切りいたします。



AEFAからのお知らせ

★AEFA参与の穴戸仙助が、地元・福島へ戻りNPO法人を設立準備中です。福島の子供たちのための活動に焦点をあてていきます。

出前授業講師を中心にAEFAのプロジェクトにも参加します。

★当会設立時メンバーの坪井未来子(ベトナム語通訳・翻訳者)が、理事として新任致しました。長年プロジェクトに関わってきた経験と、ベトナムの現場からの視点で、ベトナムプロジェクトのフェーズ2を共につくっていきます!

★「AEFA出前授業講師団」として、出前授業をともに推進・協力くださる方を募集しています。元校長先生、現役の先生、ご支援者さま、留学生... AEFAスタッフと一緒に、アジアの学校や子供の生活を伝え、日本の子供とつなげるお手伝いができればと思います!

(詳細は、事務局までお問い合わせください。)

私たちは各国のパートナーNGOと手を携えて活動しています。

ベトナム: Viet-Nam Assistance for the Handicapped(VNAH)/Saigon Children's Charity(SCC)/Research and Communication Centre for Sustainable Development(CSD)
 ラオス: Association for Community Development(ACD)
 タイ: Raks Thai Foundation(Care Thailand)

